



# 国立能楽堂

# 1

January 2023  
National  
Noh Theatre

令和五年  
一月

定例公演 1月7日(土) 午後1時開演

能 竹生島 東川 光夫 (宝生流)

狂言 昆布柿 野村 万禄 (和泉流)

普及公演 1月14日(土) 午後1時開演

解説・能楽あんない  
力動風鬼から碎動風鬼へ 大谷 節子 (成城大学教授)

狂言 鞍 善竹 十郎 (大藏流)

能 船橋 塩津 哲生 (喜多流)

定例公演 1月20日(金) 午後5時30分開演

狂言 隠 石田 幸雄 (和泉流)

能 東北 浅井 文義 (観世流)

予約開始 12月10日(土) 午前10時~  
窓口販売開始=12月11日(日)  
(チケット売出 午前10時~午後6時)  
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

〔電話〕国立劇場チケットセンター (午前10時~午後6時)  
0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]  
〔インターネット〕 国立劇場チケットセンター 検索

入場料金  
(定例・普及公演) 正面 ¥5,000・脇正面 ¥3,300・中正面 ¥3,000  
学生: 脇正面 ¥2,300・中正面 ¥2,100  
チケットのみ <https://t.pia.jp/> e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

※全公演字幕付です(日本語・英語)。※障害者の方は2割引です。車椅子などの詳細についてはチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。新型コロナウイルス感染症予防の対策にご理解とご協力をお願いいたします。詳細はホームページをご覧ください。

Noh/Kyogen Performances: January 7 (Sat.) 1 pm, January 14 (Sat.) 1 pm, January 20 (Fri.) 5:30 pm  
Tickets: ¥3,000-¥5,000 On Sale: December 10 (Sat.) 10 am National Theatre Ticket Centre +81-3-3230-3000 (10:00-18:00(JST))  
[https://ticket.ntj.jac.go.jp/top\\_e.htm](https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm) Individual subtitle monitors are available for both English and Japanese.



JR(中央・総武線)千駄ヶ谷駅(エレベーター・エスカレーターあり)徒歩5分 高宮地下鉄(丸の内線)国立競技場駅下車A4B11  
(エスカレーターあり)徒歩5分 東京メトロ(有楽町線)北豊島駅下車出口1(エレベーター・エスカレーターあり)または2(エスカレーターあり)徒歩7分  
都バス早81(渋谷-早大正門)/黒77(目黒-千駄ヶ谷駅)下車徒歩5分 都バス神宮の杜から国立能楽堂下車すぐ  
〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL.03-3463-1111(代) <https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>

定例公演

1月7日(土)

午後1時開演

能【宝生流】  
竹生島

前シテ 漁翁 東川光夫  
後シテ 龍神 東川尚史  
後ツレ 弁才天 東川善博  
ワキ 臣下 東川善博  
ワキツレ 従者 梅田昌功  
ワキツレ 従者 野口琢弘  
アイ 社人 山下浩一郎  
笛 藤田貴寛  
小鼓 幸正佳  
大鼓 佃良勝  
太鼓 加藤洋輝  
後見 水の上優  
辰巳和磨  
上野能寛  
基 小倉健太郎  
今井基 小倉健太郎  
金森隆晋 金森秀祥  
金森良充 野月聡  
當山淳司 小倉伸二郎

狂言【和泉流】  
昆布柿

シテ 丹波国の百姓 野村万緑  
アド 淡路国の百姓 吉住講  
小アド 奏者 小笠原由祠  
終演予定午後3時15分頃

1月7日の定例公演では、能舞台には注連縄をはり、各所にお正月飾りを飾るなど、賑々しく新年を寿ぎます。お正月の賑やかな雰囲気もあわせてお楽しみください。

普及公演

1月14日(土)

午後1時開演

能【喜多流】  
船橋

前シテ 里男 塩津哲生  
後シテ 里男の靈 ツレ 里女 佐々木多門  
ワキ 山伏 福王和幸  
ワキツレ 山伏 矢野昌平  
ワキツレ 山伏 村瀬昌提  
アイ 里人 善竹亮  
シテ 太郎冠者 善竹十郎  
アド 主 善竹大二郎

狂言【大蔵流】  
戦

解説・能楽あんない  
力動風鬼から碎動風鬼へ  
―世阿弥による「船橋」改作の意図―  
大谷節子 (成城大学教授)

能【喜多流】  
船橋

前シテ 里男 塩津哲生  
後シテ 里男の靈 ツレ 里女 佐々木多門  
ワキ 山伏 福王和幸  
ワキツレ 山伏 矢野昌平  
ワキツレ 山伏 村瀬昌提  
アイ 里人 善竹亮  
シテ 太郎冠者 善竹十郎  
アド 主 善竹大二郎

シテ 太郎冠者 谷友矩  
アド 主 大島輝久  
小アド 奏者 内田成信  
終演予定午後3時30分頃

定例公演

1月20日(金)

午後5時30分開演

狂言【和泉流】  
隠狸

シテ 太郎冠者 石田幸雄  
アド 主 野村萬斎

能【観世流】  
東北

前シテ 女 浅井文義  
後シテ 和泉式部 御厨誠吾  
ワキ 旅僧 大日方寛  
ワキツレ 従僧 野口能弘  
ワキツレ 従僧 野村太郎  
アイ 門前の者 野田保美  
小鼓 幸正昭  
大鼓 大倉慶乃助  
後見 観世鍊丞  
大 大江信行  
小早川泰輝 北浪貴裕  
武田文志 浅見慈一  
長山桂三 馬野正基  
武田友志 観世淳夫  
終演予定午後8時頃

昭和58年9月に開場した国立能楽堂は、令和5年に開場40周年を迎えます。9月の「開場40周年記念公演」など、節目の年にふさわしい記念公演が数多く予定されています。どうぞご期待ください。

月海上に浮かんではおも波を走るか  
竹生島 琵琶湖に浮かぶ竹生島へ参詣する僧の前に、祭神・弁才天と龍神が現れ、国土安穩を誓います。優雅な天女の舞や龍神の舞働と、華やかで見どころの多い作品です。

昆布柿 都に年貢を納めに来た、淡路と丹波のお百姓。二人一緒とは珍しいと奏者に喜ばれ、年貢によそえた歌を所望されて…。

戦 太郎冠者は持病の戦を理由に主人を背負って川を渡るのを拒みます。すると主人から、戦を題に上手に歌を詠めれば逆に自分が太郎冠者を背負ってやると言われ…。

果ててなお続く恋の妄執  
船橋 船橋を渡って逢瀬を重ねる男女。二人の間柄を快く思わない親は橋板を外し、男は川に落ちて命を落とします。「万葉集」の歌を題材に描く恋の妄執の物語です。

隠狸 狸釣りが得意な太郎冠者は内緒で獲った狸を主人に知られないように隠します。しかし、主人に酒を勧められ皿を重ねるうちに舞を舞い始めて…。

梅の香漂う早春の東北院

東北 都の東北院に今を盛りと咲く、和泉式部が愛でた「軒端の梅」。花の蔭から現れた式部の霊は旅の僧に和歌の徳を語り、東北院の風致を愛でつつ静かに舞を舞います。多くの歌に彩られた春宵の夢幻能です。

